

(科目コード : 8910720076AE)

【改訂】第3版(2019-07-25)

【科目】都市計画特論

【科目分類】専門科目 【選択・必修の別】選択

【学期・単位数】前期・2単位

【対象学科・専攻】環境 1年

【担当教員】鈴木 一史

【授業目標】

計画の目的論と目標設定を理解している。  
現実の都市問題に対し、分析仮説を設定するとともに、そのための分析方法を選定できる。  
特定の都市問題に関連する適切な資料・調査データを収集・整理できる。  
基礎的な確率統計と統計的処理を用いて地域の問題を分析できる。  
分析した結果をレポートをとして作成し、それをわかりやすくプレゼンテーションできる。

【教育方針・授業概要】

近年の都市計画には、地球環境や地域・地区の環境への配慮、高齢者のモビリティの確保、さらには計画策定プロセスにおける市民参加など様々な計画課題が存在する。本講義では、「都市計画」で講じた内容を理解していることを前提に、現実の地域の都市・交通問題について、分析仮説を設定し、そのための分析方法を検討する。そして、資料・調査データを収集・整理し、客観的・定量的な分析を行い、仮説を検証する一連の流れを体得する。以上をもって科学的な研究の流れを学修することを目的とする。実際の地域を対象に、ゼミ、グループ作業・ワークショップ形式で分析作業を行う。本講義では、都市交通分野における調査・計画の実務経験を有する教員がその経験を活かし、都市計画及び交通計画について授業を行う。

【教科書・教材・参考書等】

教材：プリント

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

授業形式：ゼミ、グループ作業・ワークショップ形式

【事前に行う準備学習】

本科「都市計画」「計画数理」で学んだ内容を復習しておくことが望ましい。

【備考】

本科目の履修を希望するものは、環境都市工学科「都市計画」「計画数理」を履修していることが望ましい。

【成績評価方法】

[前期]レポート：100%、レポート100%（課題作成70%、発表30%）

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	地域の都市・交通問題点について、分析仮説、分析方法を設定し、資料・調査データを収集・整理し、定量的に分析できる。	70 %	レポート（課題作成）で評価する。
2	分析した結果をレポートをとして作成し、それをわかりやすくプレゼンテーションできる。	30 %	レポート（発表）で評価する。

【本校の学習・教育目標】

(C) 技術的問題解決のための専門分野の知識を身に付ける

各専攻分野における専門科目を総合的に学習することにより、技術的課題が解決できる

【授業計画】（都市計画特論）

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1	ガイダンス	本講義の目的、進め方		
2	対象地域・分析テーマ設定	ディスカッションによるテーマ設定		
3	分析方法の検討(1)	使用データ、分析の流れ		
4	分析方法の検討(2)	分析手法、分析結果の整理方法		
5	資料・データの収集・整理(1)	エディティング、コーディング		
6	資料・データの収集・整理(2)	データ入力		
7	資料・データの収集・整理(3)	データチェック、マスターデータ作成		
8	資料・データの分析(1)	統計的分析		
9	資料・データの分析(2)	統計的分析		
10	資料・データの分析(3)	統計的分析		
11	資料・データの分析(4)	統計的分析		
12	課題のとりまとめ(1)	レポート作成		
13	課題のとりまとめ(2)	レポート作成		
14	課題のとりまとめ(3)	レポート作成		
15	課題発表	課題発表	レポート提出	